

『時事直言』No.1773 2025年11月18日 国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

高市早苗はまだ若い！

高市早苗は政治家としては安倍晋三にも劣らない器であることは確か。

安倍晋三の妻、安倍昭恵が言う通り高市は利口で、勉強家で、真面目で度胸がある上にカリスマ性がある。

私は日本稀代の政治家だと思っている。

今回の11月7日の国会答弁は不注意と言うより、日本の同盟国であり、日本が従属しているアメリカの対中指針の本音が分かっていないように見受けられた。

1979年1月1日の米中平和友好条約でアメリカは中国が主張する「中国は一つ、台湾は中国の一部」という原則を認めている。

アメリカより先の1978年に締結した日中平和友好条約で日本も、中国は一つ、台湾は中国の一部を認めている。

2013年3月に国家主席に就任した習近平は、台湾統一を最重要責務として任期内に実現すると宣言している。

習近平は台湾の統一は平和手段が最重要であるが、武力行使の可能性もなくはないとしている。中国の南シナ海での領有権問題、人工諸島の武装化、尖閣諸島への威嚇等々から武力による台湾統一の可能性が高まると見て、台湾は武装化を強化、日本は「台湾有事は日本の有事」というアメリカのプロパガンダに誘導されて防衛費倍増に走っている。

アメリカは台湾ロビーの強力な働きで台湾の安全保障をうたった台湾関連法を両院で可決し、さらに最近台湾軍事支援の為のいくつかの法案を可決している。

日本では安倍内閣の有事法制により集団的自衛権が合法化され、日本と親密な関係にある国が軍事危機になりそれが日本の「存立危機」と認められた場合は集団的自衛権行使が発動され自衛隊が軍事参入することになっている。

日本と親密な関係にある国は「台湾は中国の一部」を認めているから台湾ではない。

日本にとって親密な国は同盟国であり日本の安全を保障しているアメリカである。

アメリカが台湾防衛の為中国と戦争すれば沖縄をはじめ在日米軍基地は中国の攻撃目標となるから日本の「存立危機」となる。

高市の言う集団的自衛権発動はアメリカが台湾に対して安全保障行動を執ることが前提になっている。

アメリカは台湾の長年にわたる強い要請により台湾関連法その他で台湾の安全を保障したことになるが、台湾関連法については歴代の大統領は誰一人署名していないから台湾が中国の攻撃を受けても発動されない。

アメリカが中国と戦争することで蒙る損害は絶大であるから、いかなる場合でもアメリカは中国と戦

争をしないことが大原則である。

いわんや中国の一部と条約批准で形式的に認めている台湾の為に何故アメリカは犠牲を払わなくてはならないのか。

台湾関連法その他は中国が台湾統一に絶対に武力行使をしないことを承知した上での武力行使けん制である。

お分かりだろうか。

台湾に軍事支援を続けているアメリカこそが台湾海峡の緊張を煽っているのであり、習近平もそれを理解しているし、口で苦情を言っているだけで止めようとはしない。

台湾と中国の経済依存関係は年々深まっている。

現在台湾の総統は独立派だが、国民の半数は中国との統一を望む国民党支持である。

やがて国民党が政権の座に付けば平和裏に統一が進む。

元より言うだけであった習近平の台湾統一武力行使の可能性は皆無である。

アメリカが可能性のない中国の武力行使をまるで明日にでも起こるかの如く台湾海峡の緊張を煽るのは台湾と日本に武器を売る為以外の何物でもない。

ありもしない中国の台湾に対する武力行使を口にして中国を怒らせるようでは高市はまだ国際政治の裏(真実)が分かっていないようだ。

台湾統一問題は何もしなくても時間が解決する。

やがて台湾で国民党が政権の座に着けば平和裏に統一が進む。

それまでの間どれだけ台湾海峡の緊張を長引かせ、米中軍産に寄与し、台湾と日本にどれだけ兵器を売るかがトランプと習近平の腕の見せどころである。

インテリなら誰でもわかるこんなことを高市が知らないようではおぼつかない。

もう少しモノの分かる側近を雇ったらどうだろうか。

私は毎日幼稚な日中ナンセンス劇場を見させていただいている。

※増田俊男の小冊子 Vol.153 絶賛先行受付中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。